今日からは、あなたの盲導犬

日野多香子作　増田勝正写真　岩崎書店

「セロシア、ゴー」目の不自由な大石さんのかけ声で盲導犬セロシアは出発した。足なみがピタッと合っている。

しかし、出会ってすぐに このように できたのではない。盲導犬と歩くためには、人も訓練を受ける。そして、盲導犬は、主人の命令があって、初めて動くのだ。「ゴー（進め）」「カム（来い）」など、三十もの命令語を覚え、主人を安全に導くため、きびしい訓練を受ける。

なぜ、こんなにもがんばれるのだろう？ 心をこめて育てられるセロシアの日々を見てみよう。